

工 事 番 号							
設計年度	令和5年度		和田雨水排水ポンプ場除塵機（機械設備）更新工事（5-1）  三原市 和田一丁目				
施工月日	令和	年 月 日					
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要			起 工 理 由				
施工内容 沈砂池機械設備 自動除塵機 N=2基 複合工 一式							

仕 様 書

令和5年度

和田雨水排水ポンプ場  
除塵機（機械設備）更新工事（5－1）

特記仕様書

三原市都市部下水道整備課

# 目 次

第1章 総則 .....	1
第2章 機械設備 .....	3
§ 1 No.1, 2 除塵機 .....	3
第3章 複合工 .....	8
§ 1 基礎工 .....	8
§ 2 鋼製加工品類 .....	9
第4章 撤去工 .....	10
§ 1 機 器 .....	10

## 第1章 総 則

### 1. 適用範囲

本特記仕様書は、和田雨水排水ポンプ場除塵機（機械設備）更新工事（5-1）の施工に適用する。

### 2. 一般共通事項

本特記仕様書に記載なき場合は、下記の仕様書等を適用する。

- (1) 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編） 最新版 国土交通省官庁営繕部
- (2) 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編） 最新版 国土交通省官庁営繕部
- (3) 機械設備標準仕様書 最新版 地方共同法人日本下水道事業団
- (4) 機械設備工事必携 最新版 地方共同法人日本下水道事業団
- (5) 機械設備工事一般仕様書 最新版 地方共同法人日本下水道事業団
- (6) 土木工事共通仕様書 令和4年8月 広島県
- (7) 下水道土木工事必携(案) 2021年度版 公益社団法人 日本下水道協会
- (8) 下水道用設計指針と設計標準図 平成26年度改訂版 三原市
- (9) その他関連規格類

### 3. 現場の管理

受注者は、工事現場内において、監理技術者、主任技術者（下請を含む。）に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。

### 4. 検査

土木工事共通仕様書（令和4年8月 広島県）『第3編 3-1-1-8 技術検査』によるほか、三原市工事検査規程の定めるところによる。

### 5. 主任（監理）技術者の配置等

主任（監理）技術者の専任期間等

本工事に配置される技術者については、除塵機等の工場製作のみが行われている期間は、専任を要しないものとする。

なお、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の技術者がこれらの製作を一括して管理することができるものとする。

主任（監理）技術者の変更の特例

本工事に配置される技術者については、除塵機等の工場から現地への工事の現場が移行する時点において、変更ができるものとする。

なお、発注者と受注者の協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点とするほか、交代前後における技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、一定期間重複して工事現場に設置し、工事の継続性、品質等を確保するものとする。

### 6. 工事カルテの作成および登録

請負者は、工事实績情報サービス（CORINS）に基づき「工事カルテ」を作成し、監督職員

の確認を受けた後に(財)日本建設情報総合センターに登録し、「工事カルテ」の写しを監督職員に提出すること。

## 7. その他

### (1) 関連工事との調整

本工事の機種選定および施工においては、別途発注の関連工事を十分確認し、調整を行うこと。

### (2) 責任施工

本工事の施工にあたって本仕様書、添付図面、別紙設計書に明示していないものがあったとしても、設備の性能発揮に当然必要なものは監督員の指示にしたがい、受注者の費用をもって施工しなければならない。また、重要寸法についてはあらかじめ現地実測の上決定し、万一数量寸法等に誤記があった場合は、監督員と打ち合わせ善処しなければならない。

### (3) 耐震設計

耐震を十分考慮した構造および施工とすること。

### (4) 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し(保険以外の場合はそれに代わるもの)を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

### (5) 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等(以下「工事損失」という。)が発生した場合においては、次のとおりとする。なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- |             |  |
|-------------|--|
| 1) 原因調査     | 監督員と協力して行うものとする。                             |
| 2) 補償交渉     | 監督員と協力して処理解決に当るものとする。                        |
| 3) 応急措置     | 監督員から応急措置を講じる必要があると指示された場合は直ちに応急措置を講じるものとする。 |
| 4) 補償費用負担割合 | 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち、請負代金の100分の1を超える額を負担する。   |

### (6) 施工期間

既設除塵機の撤去および新設除塵機の設置時期については、非出水期の施工とする。

## 第2章 機械設備

### § 1 No.1, 2除塵機

#### 1. 使用目的

流入した下水中の比較的細い浮遊物を阻止し、かき揚げるのを目的とするものである。

#### 2. 仕様

項目	仕様	備考
(1) 形式	単一レーキ前面掻揚型	
(2) 池寸法	水路幅 2,500mm×深さ 3,300mm×1池	
(3) スクリーン	目幅 40 mm×取付角度 75°	
(4) 駆動装置	3φ×2.2kW×440V×60Hz	
(5) 掻揚速度	7.5m/分以下	
(6) 数量	2台	

#### 3. 構造概要

本機は本体フレーム、駆動装置、レーキ、軸、スクリーン等よりなり、流入した下水中の浮遊物を阻止し、単一レーキにてかき揚げ搬出コンベヤ上に排出するものである。なお本機は駆動装置および回転部が水上にある構造である。

#### 4. 製作条件

- (1) 本装置の各部の強度は十分な安全率をとるものとする。
- (2) 強度計算は全負荷荷重が片側に掛かったものとして計算すること。
- (3) 装置各部の強度は十分であっても、腐食摩耗のおそれがある部分は肉厚を考慮する。
- (4) スクリーンの強度は水位差及び流入浮遊物、流入量等を検討し、十分強度的に問題のない構造とする。
- (5) レーキ速度は、7.5m/min以下とする。

#### 5. 各部の構造

各部構造は次による。

##### (1) 駆動装置

- 1) 駆動装置は、電動機と減速機を使用し、駆動軸への伝達はチェーン・歯車または直結にてレーキを駆動する。駆動用電動機が水没する恐れのある場合、水中形電動機を使用すること。
- 2) レーキはローラガイドにそって昇降が行われるものとする。
- 3) 電動機はブレーキ付電動機とする。
- 4) 点検架台には、鋼製階段を設け、昇降が容易に出来る構造とし、危険防止用の鋼管製手

摺を設けるものとする。

- 5) 点検架台および踏板には、床用縞鋼板（4.5mm以上）を張ること。
- 6) 電動機直結減速機の回転部には必要に応じカバーを設けること。
- 7) 主軸は、十分なる強度を有し、振りモーメントおよび曲げモーメントを同時に受けた場合に於いても十分安全なものとする。
- 8) 減速機が油潤滑の場合には減速機排油弁には、ビニルホース等の接続が可能な短管を取付け、常時はキャップ止めとしておく。

## (2) フレーム

- 1) フレームは、形鋼および鋼板製（厚9mm以上）とし、溶接およびボルトで強固に組立、溶接歪、曲り等のない構造とする。
- 2) フレームは、かき揚げ用レーキのガイドレールを設け、し渣のかき揚げ、排出が支障なく行われるよう、構造的に十分考慮し、製作するものとする。
- 3) フレームに取付けるレーキガイドレールは、レーキに取り付けたガイドローラが転動して移動する溝を設けたもので、水路の両側壁部に設置する。  
取付けは、壁面にアンカーボルトにて強固に取付けるものとする。
- 4) レーキガイドには、し渣が付着しないよう十分考慮するものとする。
- 5) シュートの清掃が容易に行えるよう、必要な場合には掃除口を設け、作業台に取付ける。
- 6) 駆動軸のフレーム貫通部は、密閉措置を行う。

## (3) カバー

- 1) 上部のフレームには、鋼板（4.5mm以上）製のカバーを設けること。
- 2) カバーは、分解組立および点検、手入等が容易に出来る構造とし、適当なる点検扉（厚3.2mm以上）等を設けるとともに、十分なる強度を持たせるものとする。前面の点検扉とレーキとの間隔は十分とり、点検扉内側には取外し容易な保護用格子等を設ける。
- 3) カバー内にし渣が付着しないよう、各リブには60°以上の傾斜板を取付ける。
- 4) 扉用蝶番は全てステンレス製とする。
- 5) 扉にはストッパーを取付ける。

## (4) シュート、エプロン

- 1) レーキにてかき揚げたし渣は、エプロン（厚9mm以上）上端部より所定の位置まで、シュート（厚6mm以上）にて停滞することなく排出出来る構造とすること。
- 2) シュートはエプロンと同様に、強度および腐食を考慮し、板厚を十分厚くすること。

## (5) レーキ

- 1) レーキの先端には、バースクリーンのピッチに適合したつめを切り、能率良くし渣をかき取る構造とする。
- 2) レーキは、特に丈夫な構造とし、かき取ったし渣がこぼれないような構造とするものとする。
- 3) レーキには、両端にガイドローラを設け、水路両壁に設けたガイドレールに沿って円滑

に移動する構造とする。

(6) 細目スクリーン

- 1) 細目スクリーンは平鋼（75×9以上）を完全にひずみを取り除いてから、平鋼が等間隔になるようスペーサ（SUS304、Sch40以上）をはさみ、両ネジの通しボルトにて締付組立てること。
- 2) 細目スクリーンは支持用形鋼にボルトにて取付けるものとし、支持用形鋼は両端を水路側壁にアンカーボルトにて固定すること。
- 3) 池幅が2.5mを超える場合は2つ割とする。

(7) 給油装置

- 1) 給油方式は原則として集中給油方式とし、給油は手動グリースポンプによるもので、必要量の分配弁を設ける。グリースガンによる場合は、給油しやすい位置にグリースニップルを設けること。  
なお、給油口から各軸受までの配管は分配弁の1次側をステンレス管（SUS304、Sch40）、2次側は、水中部ステンレス管（SUS304）、その他は被覆銅管（CuT）および耐圧ゴムホースとする。  
配管は、必要箇所を堅固に支持固定し、支持材を防食処理する。テークアップ等移動する軸受にはできる限りフレキシブル管を使用すること。

6. 使用材料

- |             |                        |                                  |
|-------------|------------------------|----------------------------------|
| (1) フレーム    | 形鋼及び鋼板                 | (SS400)                          |
| (2) 軸       | 機械構造用炭素鋼               | (S35C以上またはSTK+S45C以上)            |
| (3) レーキ     | ステンレス鋼                 | (SUS304)                         |
| (4) 回転ローラ   | 鋳鉄、機械構造用炭素鋼他           | (FC200以上、S35C以上)                 |
|             | 軸受：オイルレスメタルまたはボールベアリング |                                  |
| (5) スクリーン   | ステンレス鋼                 | (SUS304)                         |
| (6) スプロケット  | 鋳鉄、機械構造用炭素鋼            | (SC480以上またはS45C以上、<br>FC D500以上) |
| (7) その他接水要部 | ステンレス鋼                 | (SUS304)                         |
|             | (ピン、ボルト、スペーサ、通しボルト等)   |                                  |

7. 保護装置

- (1) 電氣的保護装置  
過負荷防止用過電流検出器（電気設備工事）
- (2) 機械的保護装置  
過負荷防止用減速機内臓トルクリミッタ

## 8. 試験・検査

機械設備工事一般仕様書（地方共同法人日本下水道事業団編著）による。

## 9. 塗 装

機械設備工事一般仕様書（地方共同法人日本下水道事業団編著）による。

## 10. 据 付

機械設備工事一般仕様書（地方共同法人日本下水道事業団編著）によるほか、下記の点を留意すること。

- (1) フレームおよびスクリーンは指定された取付角度に正確に据付けること。
- (2) フレームとスクリーンは相対的な位置を十分考慮し、かき揚げ時にレーキとスクリーンの噛み合いが、なんら支障のないよう十分注意すること。
- (3) カバー内スラブは、し渣が付着しないよう傾斜板あるいはモルタル仕上げを行う。
- (4) 除じん機前側のスラブ開口部には、グレーチングまたは既設と同様の蓋及び手摺を取付け、グレーチングの場合には、さらにゴムシートを設ける。

## 11. 他工事との区分

### (1) 土木、建築工事との区分

- 1) コンクリート躯体にアンカーボルトにて固定する機器のアンカーボルト用穴明りおよびその復旧工事は本工事に含む。
- 2) 据付部、水路底仕上用モルタルとアンカーボルト埋込みおよび埋込み用モルタル、各機器据付調整用モルタルは本工事に含む。

### (2) 電気設備工事との区分

- 1) 機械設備工事一般仕様書（地方共同法人日本下水道事業団編著）による。

## 12. 標準付属品

- |   |     |
|---|-----|
| (1) アンカーボルト                             | 1 式 |
| (2) 照明器具（防水形、ガード付）<br>（本体上部用、スクリーン前面部用） | 2 個 |
| (3) 給油配管                                | 1 式 |
| (4) その他必要品                              | 1 式 |

## 13. 特記事項

- (1) し渣搬出ベルトコンベヤへの排出用シュートは、既設コンベヤと更新コンベヤの設置高さが異なるため、取替え可能な構造とすること。

(2)塩害対策を施すこと。

1)機器類               SS+Znメッキ+塩ゴム系塗装

2)点検歩廊等       SS+Znメッキ

## 第3章 複合工

### § 1 基礎工

#### 1. 基礎工仕様及び施工範囲

番号	名称	設置場所	主寸法	数量	備考 (防食塗装、防水等)
1	No.1, 2 除塵機基礎	沈砂池	設計図面 参照	2	
2	歩廊架台 基礎	屋外	設計図面 参照	1式	

#### 2. 機械設備工事一般仕様書（地方共同法人日本下水道事業団編著）の適用

#### 3. 特記事項

(1) 詳細は、機器配置図、添付図による。

## § 2 鋼製加工品類

### 1. 鋼製加工品仕様及び施工範囲

番号	名称	設置場所	主寸法	数量	備考 (防食塗装、防水等)
1	No.1, 2 除塵機 点検歩廊 及び階段	屋外	設計図面 参照	2	SS400+Zn メッキ
2	点検歩廊 連絡階段	屋外	設計図面 参照	1	SS400+Zn メッキ

### 2. 機械設備工事一般仕様書（地方共同法人日本下水道事業団編著）の適用

### 3. 特記事項

(1) 詳細は、機器配置図、添付図による。

## 第4章 撤去工

### § 1 機器

#### 1. 撤去機器

番号	名 称	設置場所	仕様	数量	備 考
1	No.1, 2 除塵機	沈砂池	単一レーキ前面掻揚型 40mm×75° ×1.5kW×2	2台	

#### 2. 特記事項

- (1) 詳細は、機器配置図、添付図による。
- (2) 撤去品のうち産業廃棄物の対象となる物については、適切に産業廃棄物処理場への処分を行うこと。
- (3) 撤去品のうちスクラップの対象となる物について重量内訳（SS, SUS等分類）を提出すること。

# 工事数量総括表

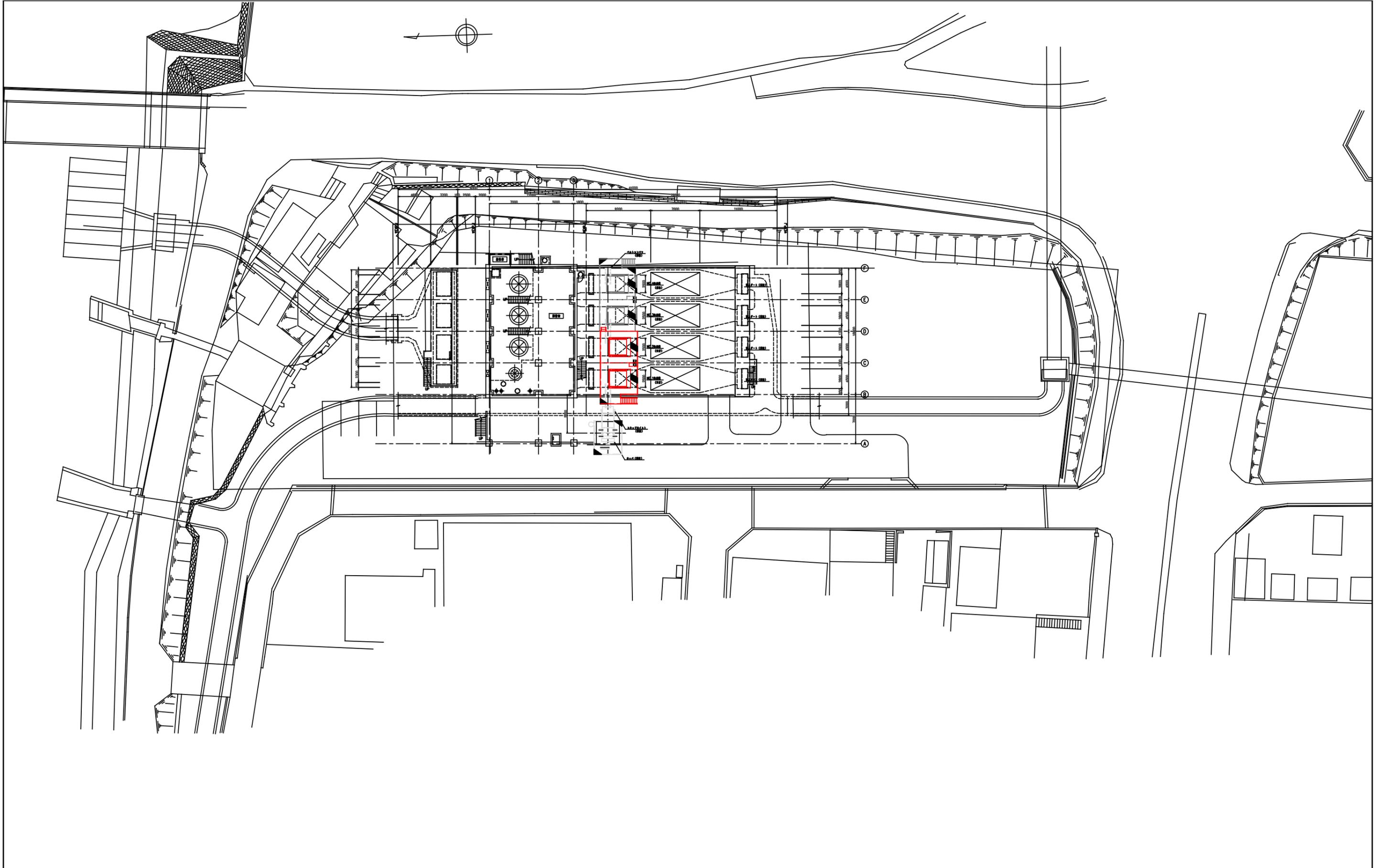
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
設備工（機器費）		式	1	レベル1
ポンプ設備工		式	1	レベル2
ポンプ設備工		式	1	レベル3
設計技術費対象		式	1	レベル4
** 機器費 **				
設備工		式	1	レベル1
ポンプ設備工		式	1	レベル2
輸送費		式	1	レベル3
輸送費		式	1	レベル4
材料費		式	1	レベル3
直接材料費		式	1	レベル4
補助材料費		式	1	レベル4
労務費		式	1	レベル3
一般労務費		式	1	レベル4
機械設備据付労務費		式	1	レベル4
複合工費		式	1	レベル3
複合工		式	1	レベル4

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
直接経費		式	1	レベル3
機械経費		式	1	レベル4
総合試運転費		式	1	レベル4
仮設費		式	1	レベル3
** 直接工事費 **				
準備費				
準備費		式	1	レベル2
準備費		式	1	レベル3
準備費		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
** 共通仮設費 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
据付間接費				
** 据付工事原価 **				
設計技術費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分額				

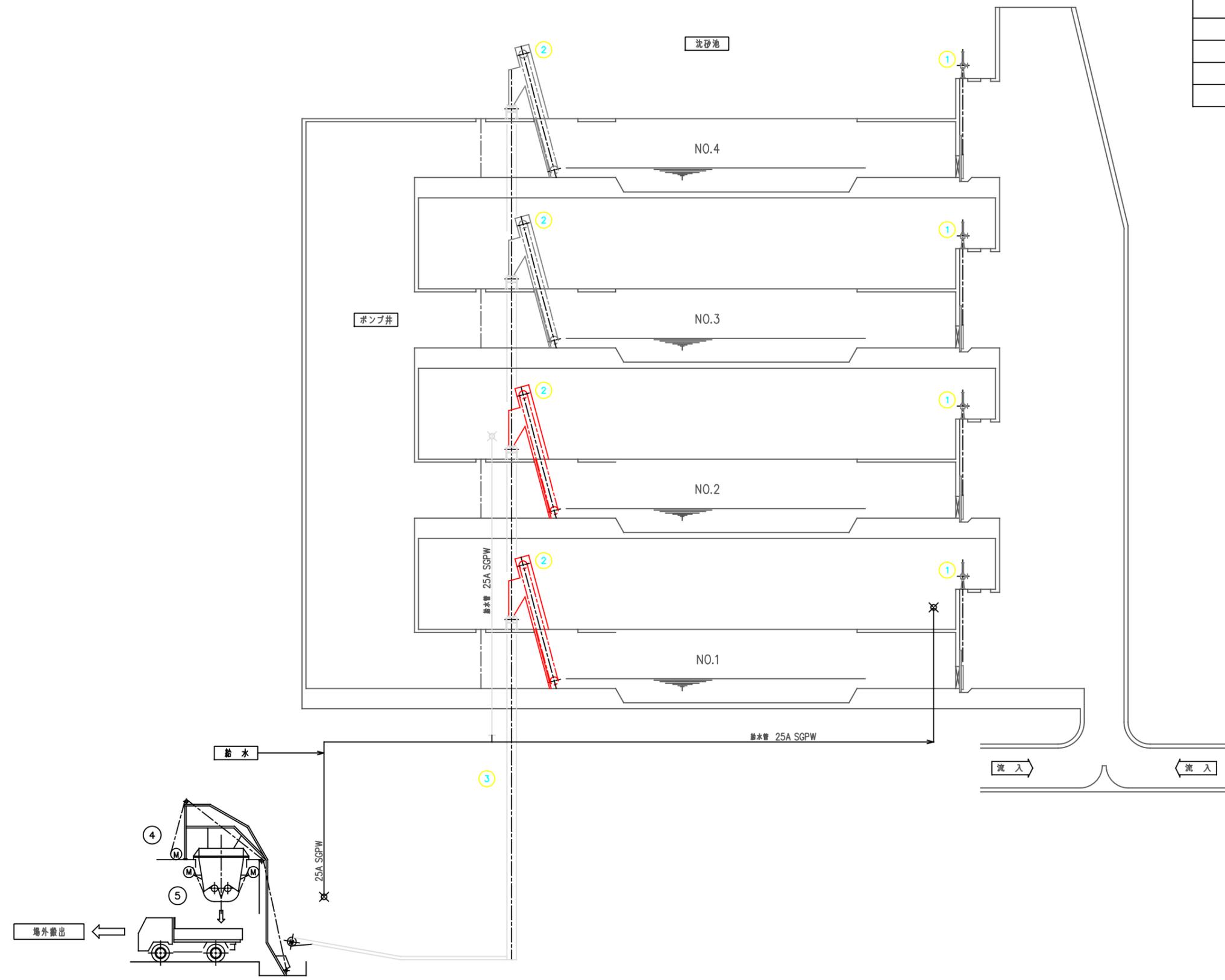
# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
契約保証費					
** 一般管理費計 **					
** 工事価格計 **					
消費税相当額					
** 請負工事費計 **					

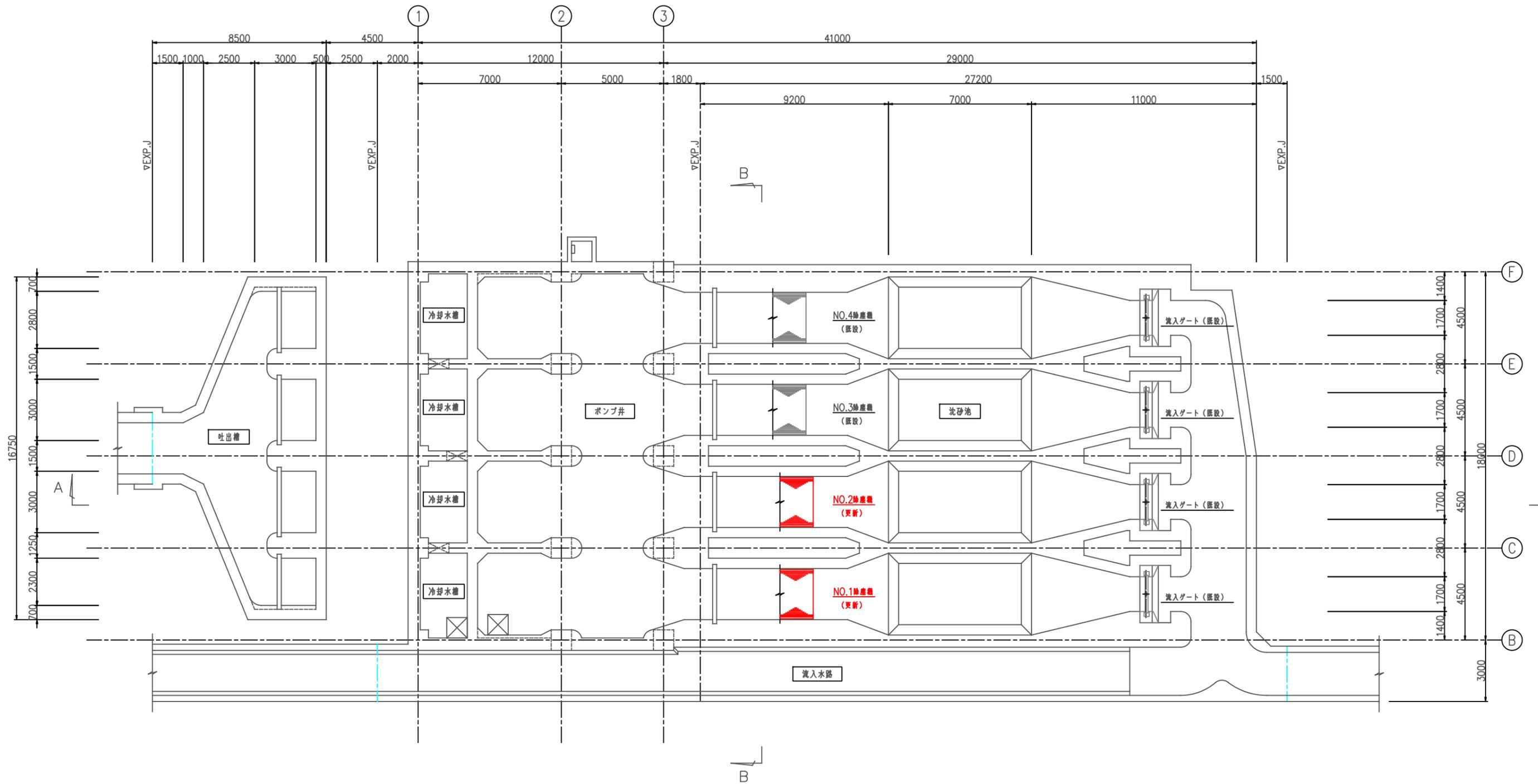


令和5年度 公共下水道事業（雨水）			
工事名	和田雨水排水ポンプ場 除塵機（機械設備）更新工事（5-1）		
工事場所	三原市和田1丁目地内		
図面番号	PM-1	縮尺	1/250
全体配置図			
三原市			

番号	名称	仕様	動力 (KW)	数量			備考
				全体	今回	既設	
①	流入ゲート	鋼製ローラゲート 1600W×2400H	-	4	0	4	
②	除塵機	車レーキ形除塵機 40mm×75	1.5×2	4	2	4	
③	ベルトコンベヤ	20°トラフ形ベルトコンベヤ 幅600mm×最大長19000mm	1.5	1	0	1	先端部傾斜
④	スキップホイスト	スキップホイスト バケット容量:0.5m <sup>3</sup>	3.7	1	0	1	
⑤	ホッパ	鋼板製 4.0m <sup>3</sup>	2.2×2	1	0	1	

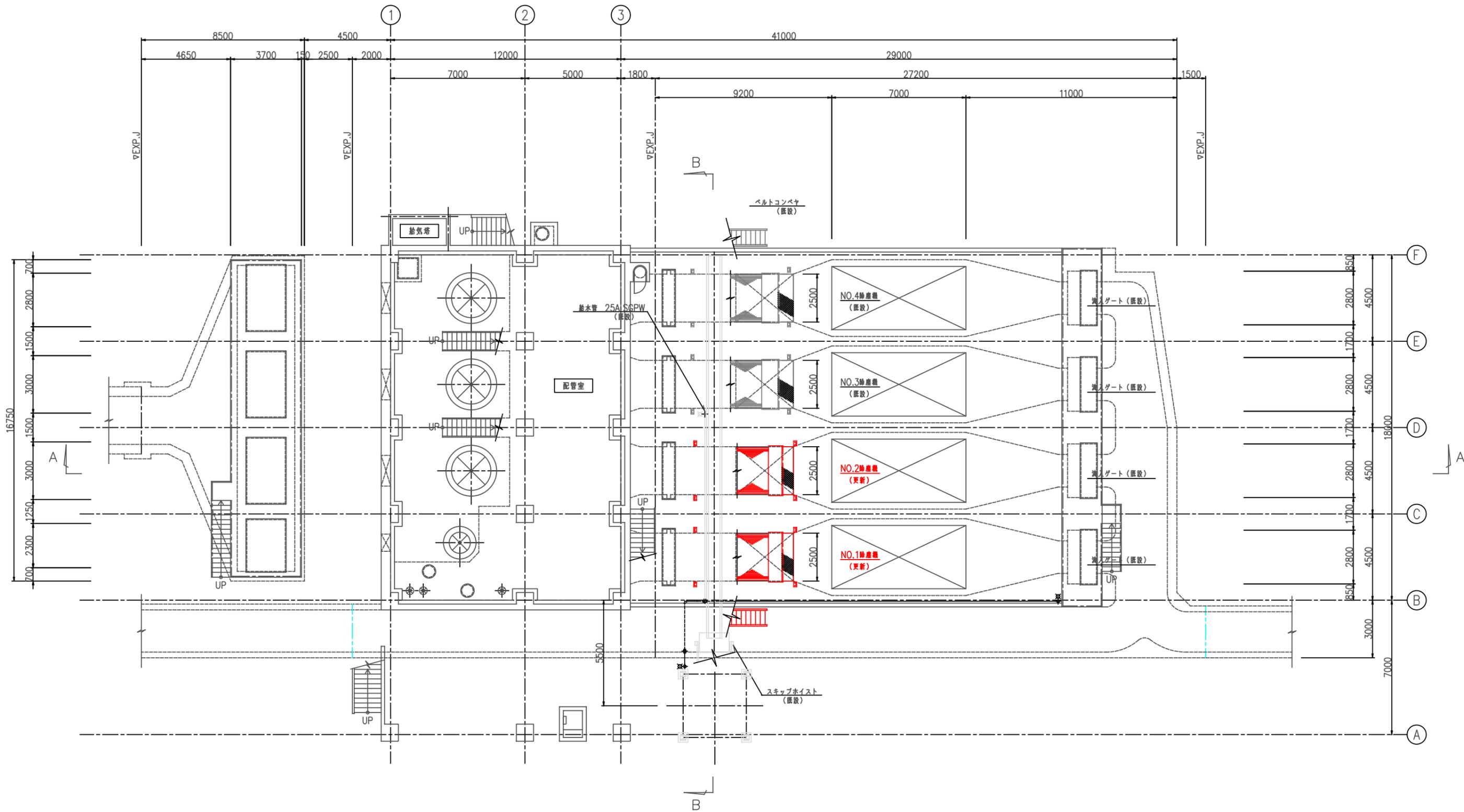


令和5年度 公共下水道事業(雨水)			
工事名	和田雨水排水ポンプ場 除塵機(機械設備)更新工事(5-1)		
工事場所	三原市和田1丁目地内		
図面番号	PM-2	縮尺	NON
更新フローシート			
三原市			



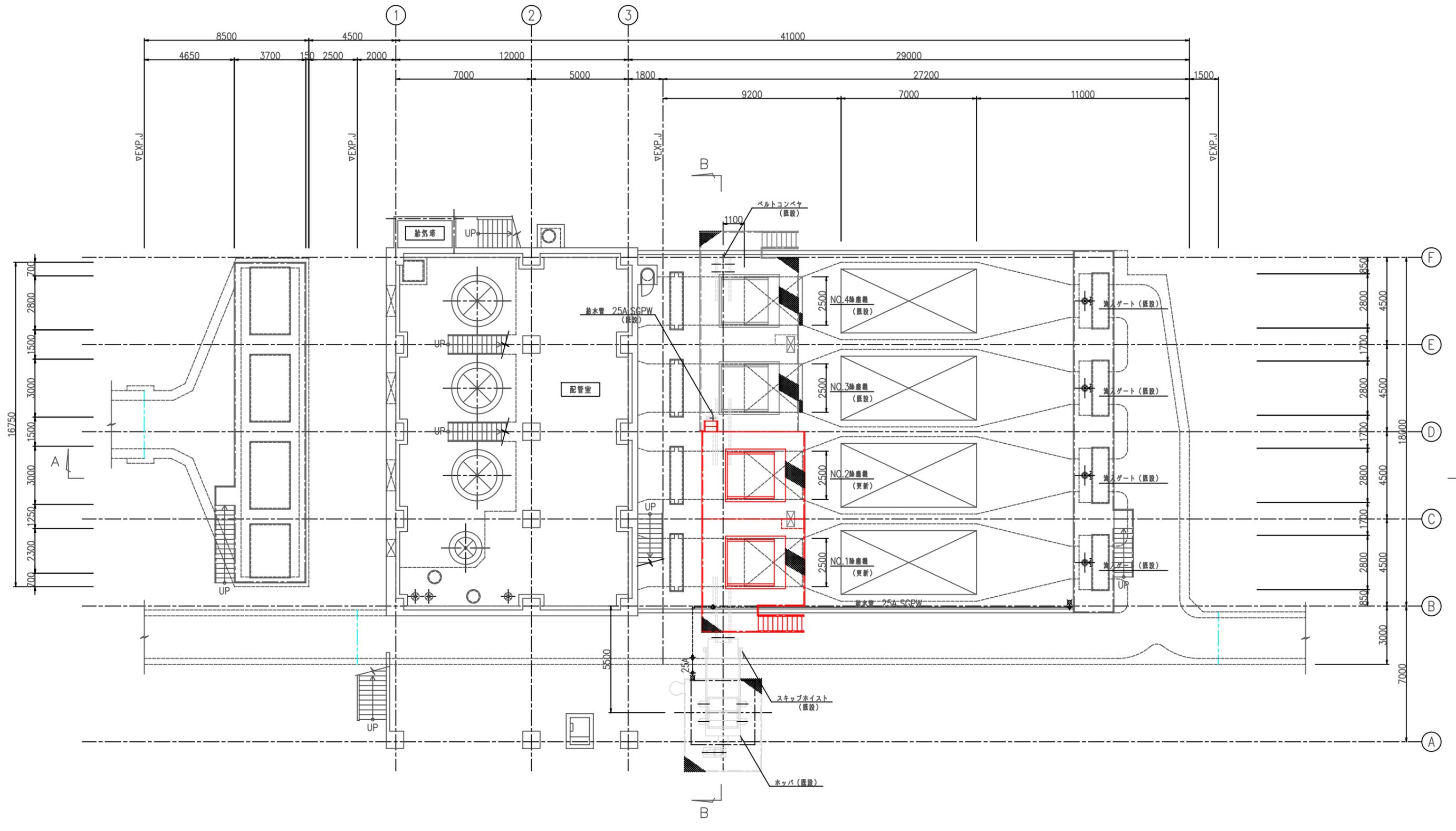
地下1階平面図

令和5年度 公共下水道事業（雨水）			
工事名	和田雨水排水ポンプ場 揚産機（機械設備）更新工事（5-1）		
工事場所	三原市和田1丁目地内		
図面番号	PM-3	縮尺	1/100
更新平面図（1）			
三原市			



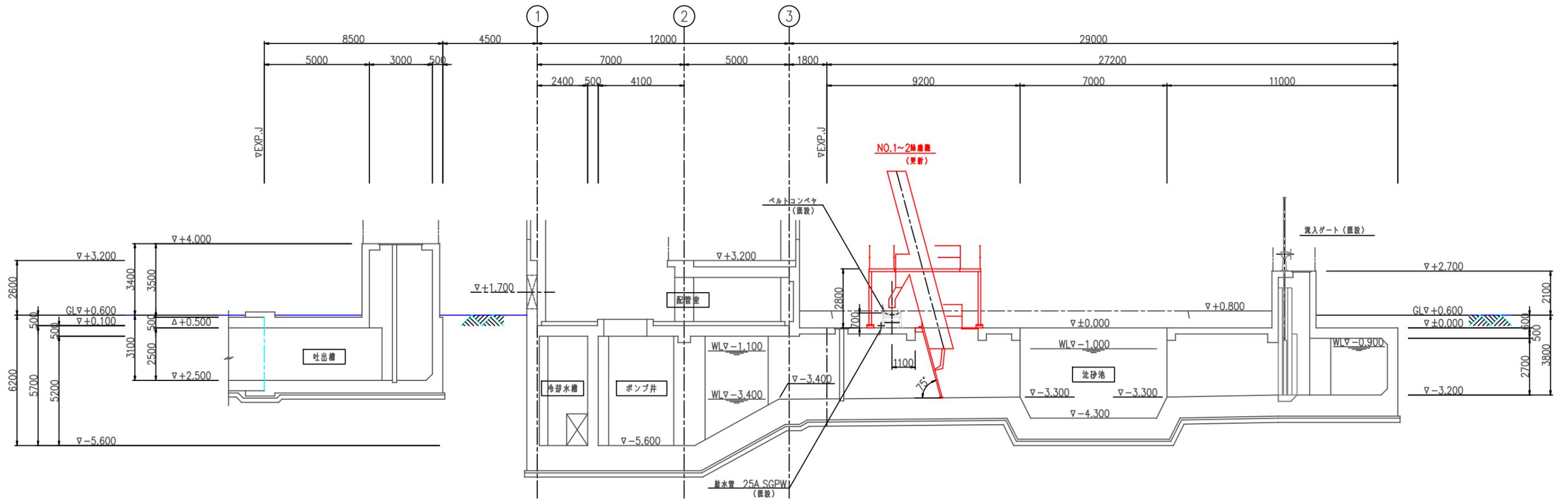
1 階下部平面図

令和5年度 公共下水道事業(雨水)			
工事名	和田雨水排水ポンプ場 給気塔(機械設備)更新工事(5-1)		
工事場所	三原市和田1丁目地内		
図面番号	PM-4	縮尺	1/100
更新平面図(2)			
三原市			

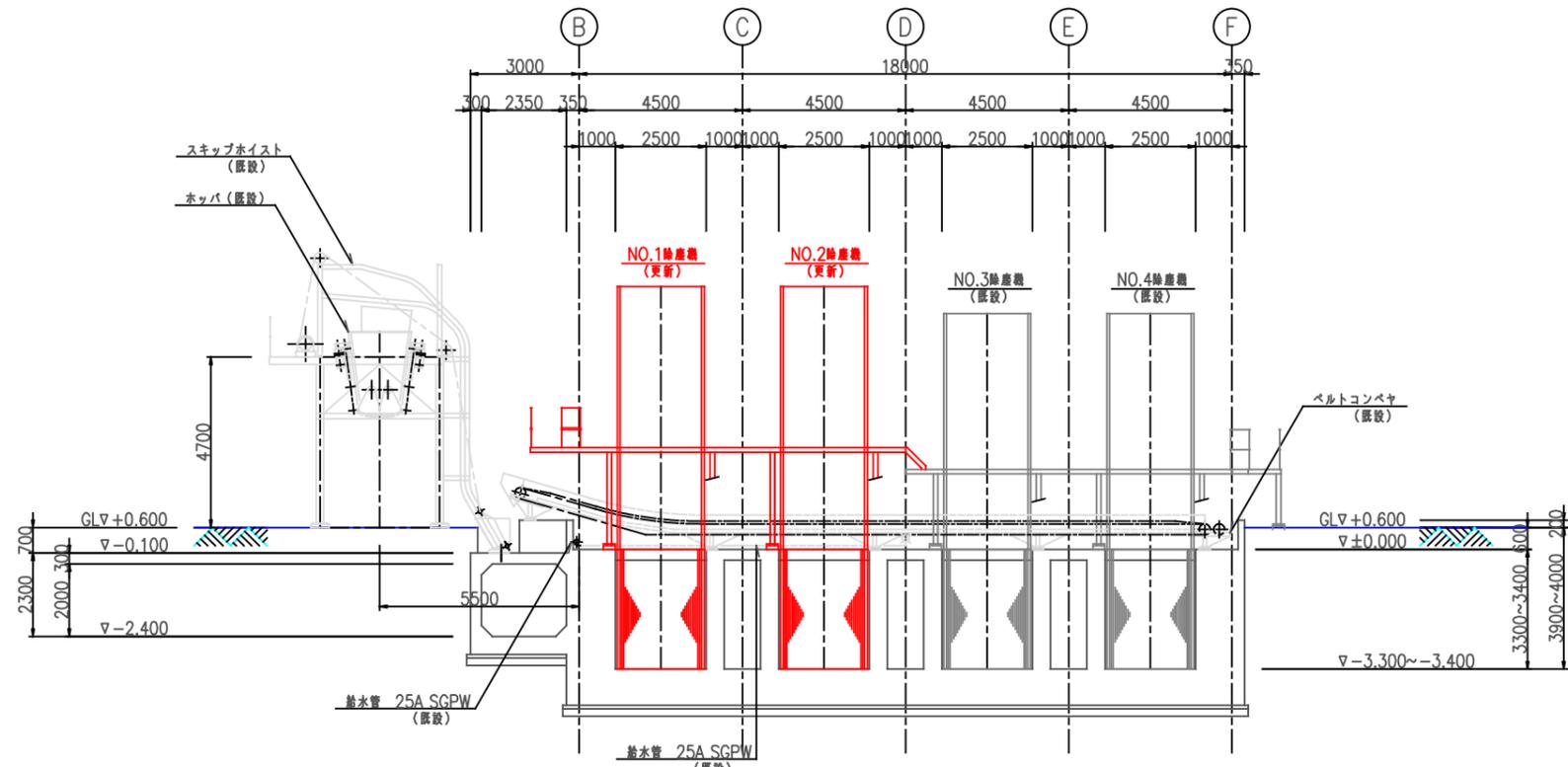


1階上部平面図

令和5年度 公共下水道事業(雨水)			
工事名	和田雨水排水ポンプ場 給産機(機械設備)更新工事(5-1)		
工事場所	三原市和田1丁目地内		
図面番号	PM-5	縮尺	1/100
更新平面図(3)			
三原市			



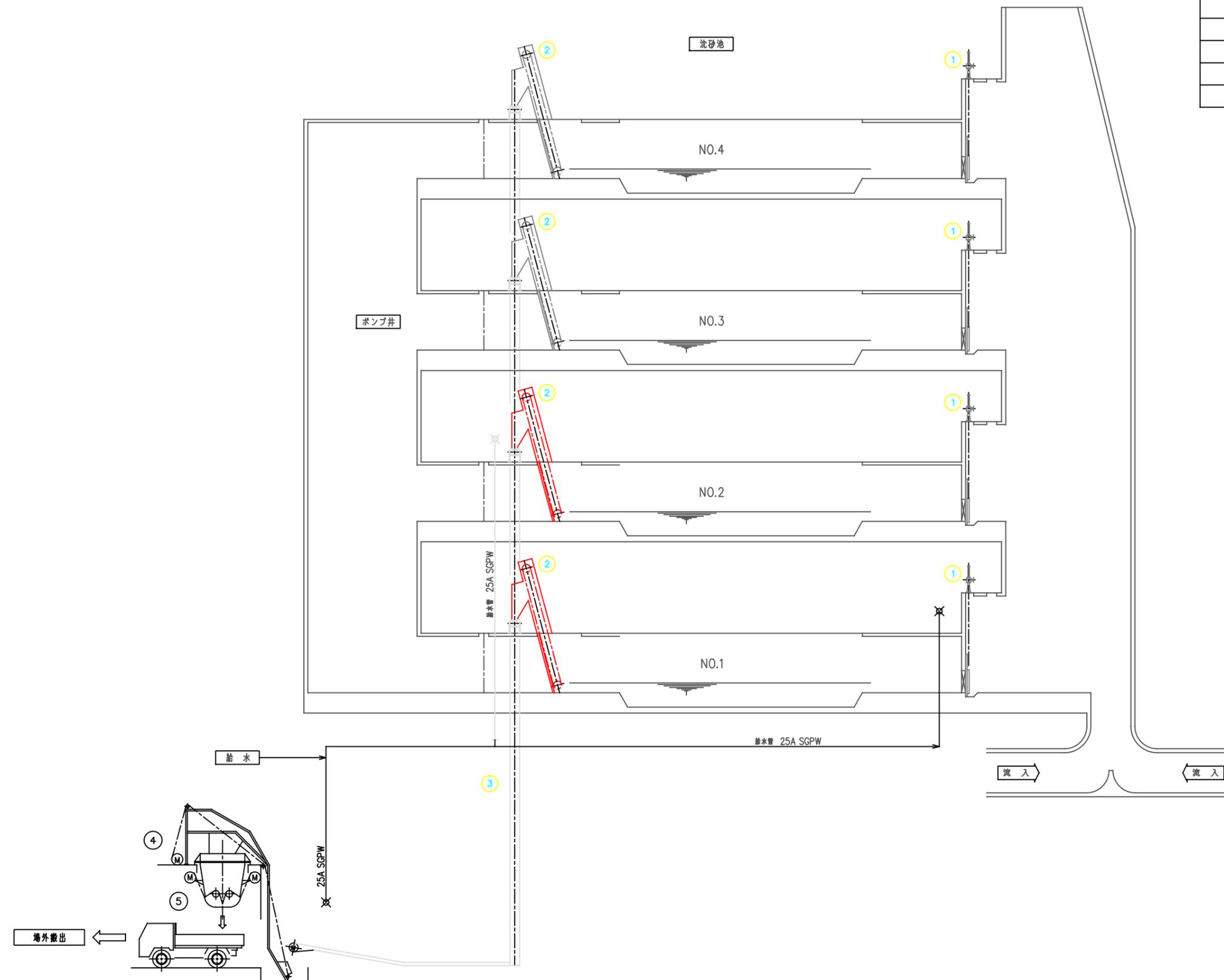
A-A 断面図



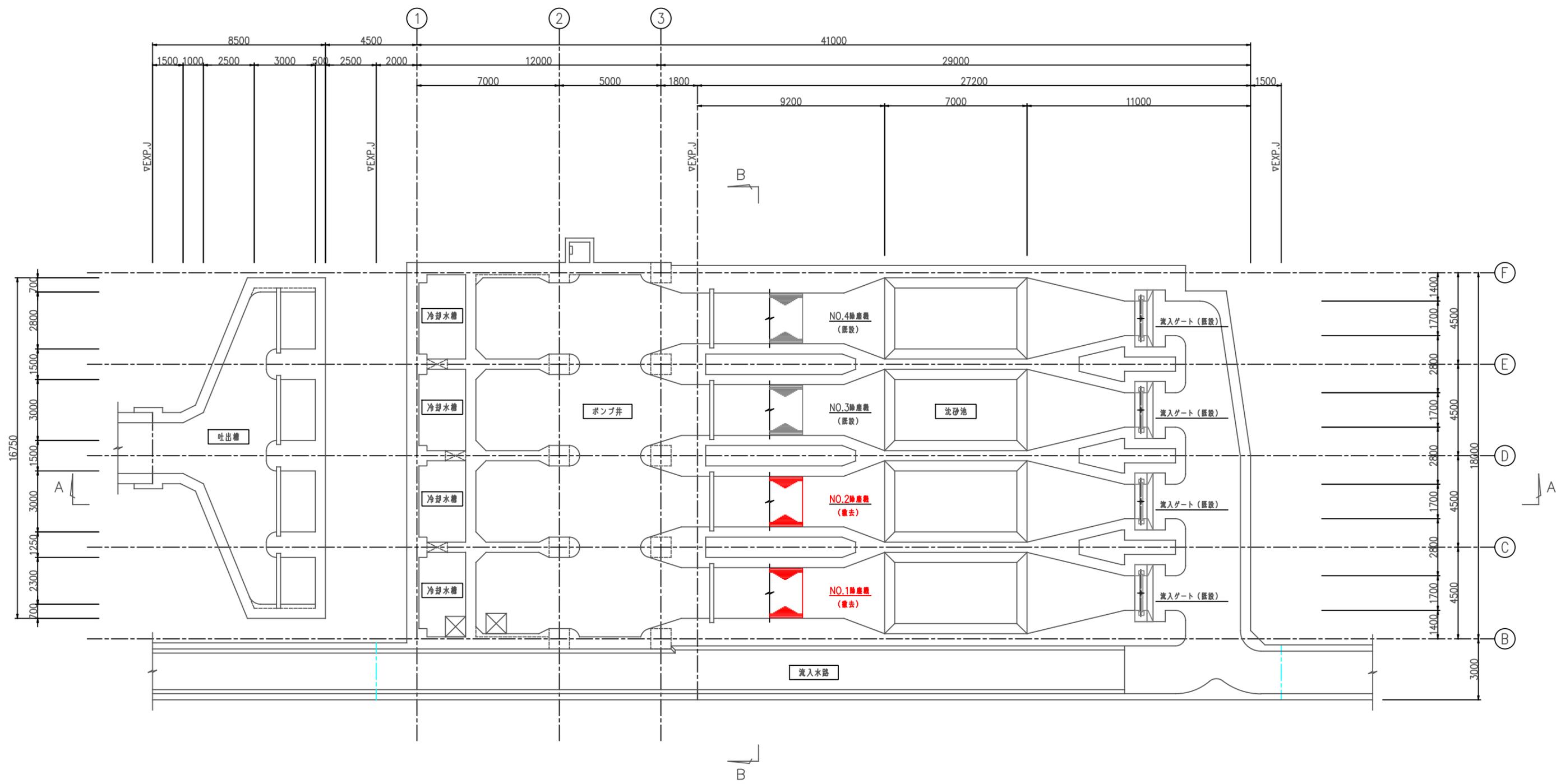
B-B 断面図

令和5年度 公共下水道事業 (雨水)			
工事名	和田雨水排水ポンプ場 産機 (機械設備) 更新工事 (5-1)		
工事場所	三原市和田1丁目地内		
図面番号	PM-6	縮尺	1/100
更新断面図			
三原市			

番号	名称	仕様	動力 (KW)	数量			備考
				全体	撤去	既設	
①	流入ゲート	鋼製ローラゲート 1600W×2400H	-	4	0	4	
②	除塵機	車レーキ形圓錐形 40mm×75	1.5×2	4	2	4	
③	ベルトコンベヤ	20°トラフ形ベルトコンベヤ 幅600mm×最大長19000mm	1.5	1	0	1	先端部傾斜
④	スキップホイスト	スキップホイスト バケット容量:0.5m <sup>3</sup>	3.7	1	0	1	
⑤	ホッパ	鋼板製 4.0m <sup>3</sup>	2.2×2	1	0	1	



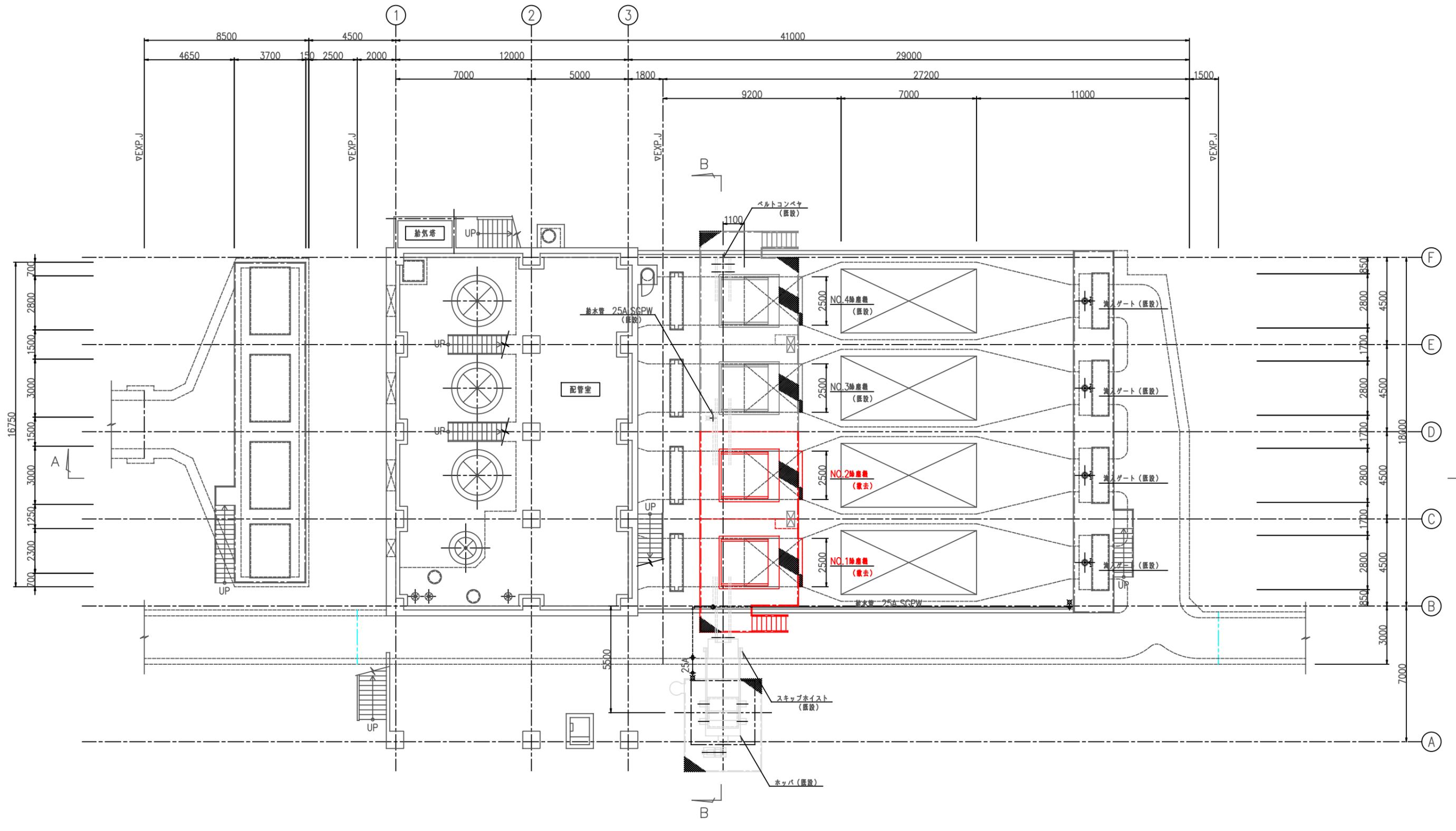
令和5年度 公共下水道事業(雨水)			
工事名	和田雨水排水ポンプ場 除塵機(機械設備)更新工事(5-1)		
工事場所	三原市和田1丁目地内		
図面番号	PM-7	縮尺	NON
撤去フローシート			
三原市			



地下1階平面図

令和5年度 公共下水道事業（雨水）			
工事名	和田雨水排水ポンプ場 除塵機（機械設備）更新工事（5-1）		
工事場所	三原市和田1丁目地内		
図面番号	PM-8	縮尺	1/100
撤去平面図（1）			
三原市			





1階上部平面図

令和5年度 公共下水道事業(雨水)			
工事名	和田雨水排水ポンプ場 除塵機(機械設備)更新工事(5-1)		
工事場所	三原市和田1丁目地内		
図面番号	PM-10	縮尺	1/100
撤去平面図(3)			
三原市			



# 参 考 資 料

－和田雨水排水ポンプ場除塵機（機械設備）更新工事（5-1）－

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 59 三原市 00-05.04.01(0)  F 下水道機械設備	凡例 Co … コンクリート      As … アスファルト DT … ダンプトラック      BH … バックホウ CC … クローラクレーン      TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代	前世代
復興補正区分 前払金支出割合区分 週休補正区分 契約保証区分	00 補正なし 00 補正無し 00 補正なし 01 金銭的保証(0.04%)	
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
設備工（機器費）					Y1800F レベル1
ポンプ設備工	1	式			Y28003F レベル2
ポンプ設備工	1	式			Y280031F レベル3
設計技術費対象	1	式			Y48003101F レベル4
機器費	1	式			V0001 00
	1	式			単第0 -0001 表
** 機器費 **					
設備工	1	式			Y1900F レベル1
ポンプ設備工	1	式			Y29003F レベル2

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
輸送費	1	式			Y390031F レベル3
輸送費	1	式			Y49003201F レベル4
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 80km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0002 表
材料費	1	式			Y390032F レベル3
直接材料費	1	式			Y49003201F レベル4
材料費	1	式			V0003 00 単第0 -0005 表
補助材料費	1	式			Y49003202F レベル4
補助材料費(率分)	1	式			SY49202F 00 機械設備 単第0 -0006 表
労務費	1	式			Y390033F レベル3

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般労務費	1	式			Y49003301F レベル4
一般労務費 据付	1	式			V0004 00 単第0 -0007 表
機械設備据付労務費	1	式			Y49003302F レベル4
機械設備据付労務費	1	式			V0005 00 単第0 -0008 表
複合工費	1	式			Y390034F レベル3
複合工	1	式			Y49003401F レベル4
複合工	1	式			V0006 00 単第0 -0009 表
直接経費	1	式			Y390035F レベル3
機械経費	1	式			Y49003503F レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械経費（率分）					SY49503F 00
	1	式			機械設備 単第0 -0015 表
総合試運転費					Y49003504F レベル4
	1	式			
総合試運転費（率分） ポンプ設備工 ポンプ場施設					SY49504F 00
	1	式			機械設備 単第0 -0016 表
仮設費					Y390036F レベル3
	1	式			
仮設費（率分） ポンプ設備工					SY396F 00
	1	式			機械設備 単第0 -0017 表
** 直接工事費 **					
準備費					Z0002
準備費					YZ902 レベル2
	1	式			
準備費					YZ902001 レベル3
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
準備費					YZ902001001レベル4
	1	式			
運搬処分費					V0007 00
	1	式			単第0 -0018 表
共通仮設費率分					Z0010
計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...
** 共通仮設費 **					
** 純工事費 **					
現場管理費					
計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...
据付間接費					
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 据付工事原価 **					

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
設計技術費 計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...
**工事原価**					
一般管理費率分類 計算情報..... 対象額..... 率.....		機器補正率...			前払補正率... 対象額合計...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
**一般管理費計**					
**工事価格計**					
消費税相当額 計算情報..... 対象額..... 率.....					
**請負工事費計**					









# 施工単価表

材料費

V0003

単第0 -0005 表

頁0 -0012

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
溝鋼材 [125 × 65 × 6	328	kg			
等辺山形鋼 L50 × 50 × 6	12.2	kg			
鋼板 PL9	4.24	kg			
縞鋼板 chPL4.5	226	kg			
鋼管 25ASGP	19.2	m			
鋼管 32ASGP	19.2	m			
平鋼 FB50 × 6	10.7	kg			
*** 単位当たり ***	1	式			









# 施工単価表

コンクリート

SPK22040144

単第0 -0010 表

小型構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

44.48%

材料構成比:

55.52%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

28,841.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	24.11%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.63%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	8.56%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	55.52%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		



# 施工単価表

モルタル練

SPK22040145

単第0 -0012 表

普通

混合比1:2

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 62.18%

材料構成比: 37.82%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

45,170.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	62.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
セメント(袋) 普通ポルトランド 25kg/袋	28.05%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPCD0094 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	9.77%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=2 普通 C=1 -(全ての費用)			B=2 混合比1:2		

# 施工単価表

型枠

SPK22040146

単第0 -0013 表

一般型枠

小型構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

7,866.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	45.15%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.47%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.34%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

# 施工単価表

頁0 -0021

コンクリートはつり

SPK22040108

単第0 -0014 表

平均はつり厚3cm以下

1 m2 当り

機械構成比: 1.67% 労務構成比: 94.57% 材料構成比: 3.76% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 4,570.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量5m3/min 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.63%		空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型] 5m3/min		KTPC00030 KTPT00030
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	38.41%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	31.66%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	21.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.66%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001











# 施工単価表

殻運搬

SPK22040142

単第0 -0019 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離5.7km以下(3.3km超)

1

m3 当り

機械構成比: 43.25% 労務構成比:

42.18% 材料構成比: 14.57%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,395.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.57%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

# 施工単価表

現場発生品・支給品運搬

SPK22040408

単第0 -0020 表

クレーン装置付BT4～4.5t積2.9t吊

片道運搬距離2.0km以下

1

回 当り

機械構成比: 18.34% 労務構成比: 75.65%

材料構成比: 6.01%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,285.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積吊能力2.9t	18.34%		トラック クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t積吊能力2.9t		MTPC00021 MTPT00021
運転手(特殊)	38.37%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	37.28%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	6.01%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=10			B=1		
クレーン装置付BT4～4.5t積2.9t吊 1回当り平均積載質量2.6t超2.9t以下			片道運搬距離2.0km以下		

# 数量総括表

－和田雨水排水ポンプ場除塵機（機械設備）更新工事（5-1）－

総括表

第1期







更 新 工 事

第1期

一般労務員・工場派遣労務員集計表

(設備名) 機械設備 (第1期) (更新)

	普通作業員 (人)	配管工 (人)	設備機械工 (人)	溶接工 (人)	はつり工 (人)	電工 (人)	技術者 (人)	機械設備据付工 (人)	備考
機器等据付工	15.70		3.30					141.6	
鋳鉄管据付工									
鋼管据付工									
小配管据付工									
複合工									
試運転費									
計	15.7		3.3					141.6	
設計数量	15 人		3 人					141 人	





# 鋼製架台計算書(1/2)

(設備名) 機械設備 (第1期) (更新)

名称		数量	略 図	算 出 式	合計数量	単位重量(kg/m <sup>3</sup> kg/m <sup>2</sup> )	重量計(kg)
No.	1	1	別紙参照	[125×65×6	22.748m	13.40	304.823
	除塵機 点検歩廊			1.35×5+2.75×2+2.2×2+(2.899+0.15)×2			
K-1				L50×50×6	2.75m	4.43	12.183
				2.75			
				PL9	0.06m <sup>2</sup>	70.65	4.239
				0.1×0.15×4			
				chPL4.5	5.622m <sup>2</sup>	36.99	207.958
				1.35×2.75+(0.03+0.25+0.03)×0.77×8			
				25ASGP	17.452m	2.43	42.408
				1.35+2.75+0.45+1.1×8+2.051×2			
				32ASGP	13.052m	3.38	44.116
				1.35+2.75+0.45+1.1×4+2.051×2			
				FB50×6	4.55m	2.36	10.738
				1.35+2.75+0.45			
合計							626.465

# 鋼製架台計算書(2/2)

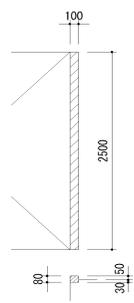
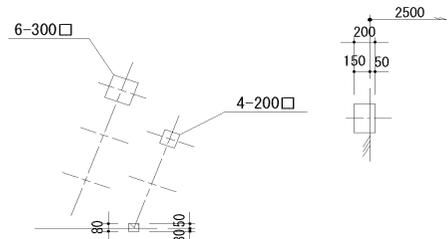
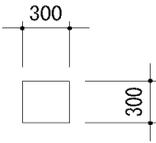
(設備名) 機械設備 (第1期) (更新)

名	称	数量	略	図	算	出	式	合計数量	単位重量(kg/m <sup>2</sup> ・kg/m <sup>2</sup> )	重量計(kg)
No.	2	1								
	除塵機点検歩廊 連絡階段									
	K-2				[125×65×6 0.86×2 chPL4.5 (0.03+0.25+0.03)×0.77×2 25ASGP 0.86×2 32ASGP 0.86×2+1.1×4	1.72m  0.477m <sup>2</sup>  1.72m  6.12m	13.40  36.99  2.43  3.38	23.048  17.644  4.180  20.686		
合計										65.558



複合工及仮設計算書(1/2)

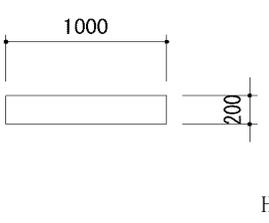
(設備名) 機械設備 (第1期) (更新)

No. 1	名称 除塵機基礎(1)	数量 2		コンクリート工	$0.1 \times 2.5 \times 0.08$	無筋 $\sigma = 180$	はつり工	$0.1 \times 2.5$	0.5	m <sup>2</sup>		
				=0.02	=0.25							
				0.020×2								
				モルタル仕上	$0.1 \times 0.2 \times 2.5 + 2.5 \times 0.08 + (0.1 \times 2 + 2.5) \times 0.05$			厚さ配合			型枠工	$2.5 \times 0.08 + (0.1 \times 2 + 2.5) \times 0.05$
				=0.385	=0.335							
				0.385×2								
				モルタル充填							ガラ処分	$0.1 \times 2.5 \times 0.03$
												=0.008
												0.008×2
No. 2	名称 除塵機基礎(2)	数量 2		コンクリート工	$0.3 \times 0.3 \times 0.2 \times 6 + 0.2 \times 0.2 \times 0.2 \times 4$	無筋 $\sigma = 180$	はつり工	$0.3 \times 0.3 \times 6 + 0.2 \times 0.2 \times 4$	1.9	m <sup>2</sup>		
				+0.1×2.5×0.08	=0.16			=0.95				
				0.160×2								
				モルタル仕上	$0.3 \times 0.3 \times 6 + 0.2 \times 0.2 \times 4 + 0.3 \times 4 \times 0.05 \times 6$			厚さ配合			型枠工	$0.3 \times 4 \times 0.05 \times 6 + 0.2 \times 4 \times 0.05 \times 4 + 0.05 \times 2.5 \times 2$
				+0.2×4×0.05×4+(0.05×2+0.1)×2.5	=1.72						=0.77	
				1.720×2								
				モルタル充填							ガラ処分	$0.3 \times 0.3 \times 0.15 \times 6 + 0.2 \times 0.2 \times 0.15 \times 4$
												+0.1×2.5×0.03
												=0.113
												0.113×2
No. 3	名称 点検歩廊脚部基礎	数量 14		コンクリート工	$0.3 \times 0.3 \times 0.05$	無筋 $\sigma = 180$	はつり工		0.84	m <sup>2</sup>		
				=0.005								
				0.005×14								
				モルタル仕上	$0.3 \times 0.3 + 0.3 \times 4 \times 0.05$			厚さ配合			型枠工	$0.3 \times 4 \times 0.05$
				=0.15	=0.06							
				0.150×14								
				モルタル充填							ガラ処分	

H50

## 複 合 工 及 仮 設 計 算 書 (2/2)

(設備名) 機械設備 (第1期) (更新)

No.	名 称	数量								
No. 4	点検歩廊階段 基礎	1		コンクリート工	1.0×0.2×0.05 =0.01	無筋 σ=180	は つ り 工			
				モルタル仕上	0.010×1	0.01 m³			m³	
				モルタル仕上		厚さ 配合	型 枠 工	(1.0+0.2)×2×0.05 =0.12		
				モルタル充填		m²		0.120×1	0.12	m²
				鉄筋工						
					kg					
No.	名 称	数量		コンクリート工		無筋 σ=180	は つ り 工			
				モルタル仕上		m³			m³	
				モルタル仕上		厚さ 配合	型 枠 工			
				モルタル仕上		m²			m²	
				モルタル充填						
					m³		m³			
					kg					
No.	名 称	数量		コンクリート工		無筋 σ=180	は つ り 工			
				モルタル仕上		m³			m³	
				モルタル仕上		厚さ 配合	型 枠 工			
				モルタル仕上		m²			m²	
				モルタル充填						
					m³		m³			
					kg					

撤 去 工 事

第1期

一般労務員・工場派遣労務員集計表

(設備名) 機械設備 (第1期) (撤去)

	普通作業員 (人)	配管工 (人)	設備機械工 (人)	溶接工 (人)	はつり工 (人)	電工 (人)	技術者 (人)	機械設備据付工 (人)	備考
機器等据付工	5.70		6.30 52.00						
鑄鉄管据付工									
鋼管据付工									
小配管据付工									
複合工									
試運転費									
計	5.70		58.30						
設計数量	5 人		58 人						





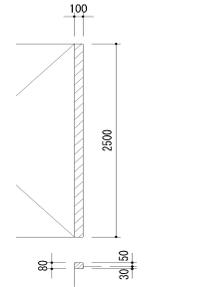
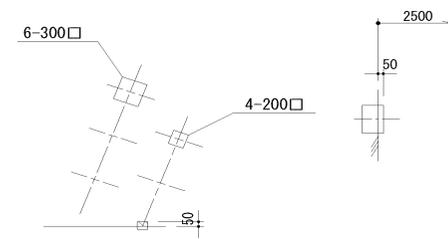
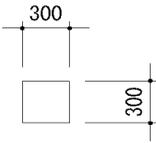






複 合 工 及 仮 設 計 算 書 (1/2)

(設備名) 機械設備 (第1期) (撤去)

No. 1	名称 除塵機 基礎(1)撤去	数量 2		コンクリート工	無筋	は つ り 工	$0.1 \times 2.5$				
					$\sigma = 180$		$=0.25$				
							$0.250 \times 2$				
							$0.5 \text{ m}^2$				
					厚さ配合		型 枠 工				
									$\text{m}^2$		
									$0.1 \times 2.5 \times 0.05$	ガ ラ 処 分	
									$=0.013$		
									$0.013 \times 2$		$0.026 \text{ m}^3$
					鉄筋工						
	kg										
No. 2	名称 除塵機 基礎(2)撤去	数量 2		コンクリート工	無筋	は つ り 工		$0.3 \times 0.3 \times 6 + 0.2 \times 0.2 \times 4$			
					$\sigma = 180$			$+0.1 \times 2.5$			
							$=0.95$				
							$0.950 \times 2$	$1.9 \text{ m}^2$			
					厚さ配合		型 枠 工				
								$\text{m}^2$			
								$0.3 \times 0.3 \times 0.05 \times 6 + 0.2 \times 0.2 \times 0.05 \times 4$		ガ ラ 処 分	
								$+0.1 \times 2.5 \times 0.05$			
								$=0.048$			
								$0.048 \times 2$			$0.096 \text{ m}^3$
鉄筋工											
	kg										
No. 3	名称 点検歩廊脚部 基礎	数量 14		コンクリート工	無筋	は つ り 工		$0.3 \times 0.3$			
					$\sigma = 180$		$=0.09$				
							$0.090 \times 14$	$1.26 \text{ m}^2$			
							$\text{m}^2$				
					厚さ配合		型 枠 工				
								$\text{m}^2$			
								$0.3 \times 0.3 \times 0.05$		ガ ラ 処 分	
								$=0.005$			
								$0.005 \times 14$			$0.07 \text{ m}^3$
					鉄筋工						
	kg										



# 参 考 図

—和田雨水排水ポンプ場除塵機（機械設備）更新工事（5-1）—

